

山豆



青山 仁智子



すずく、あまの4、

このひま、



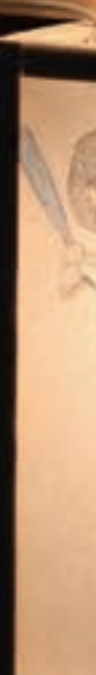
かつた、

い、



吉田 藤 七

人、



御挨拶

宮 司 宮 西 修 治

聖上には、昨年五月一日、恙なく第百二十六代

天皇の御位にお即きになりました。昨秋には大嘗祭が齋行され、御代替わりに関連する諸儀式が万事滞りなく行われましたこと誠に慶賀の至りであり、国民の一人として衷心より御祝い申上げる次第です。

さて、本年は令和の御代に於ける初の山王祭ということで、例年にも増して盛大に執り行う予定でございましたところ、このたびの、まさに降ってわいたような新型コロナウイルス感染症の拡大により、三月には東京オリンピック・パラリンピックの延期が決まり、四月七日には東京を始めとした七都府県に緊急事態宣言が発出されるに至りました。

この国難ともいふべき状況に鑑み、六月十二日に予定していた神幸祭を始めとする各種行事はすべて中止、諸神事は神職のみで執行する事と相成りました。誠に断腸の思いではありますが、氏子御崇敬の皆様と安全の観点から苦渋の決断を致しました。何卒事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

この神幸祭の中止について過去を振り返りますと、明暦三年の大火、万治二年の御社殿造営、慶安四・延宝八・享保元・宝暦十一年の將軍不例の際、また終戦から氏子地域の再興に至る昭和二十年～二十六年の間、近々では平成十二年の暴風雨の際など幾度か中止の例がありますが、今回のような感染症（所謂疫病）の流行による中止は、まさに未曾有の事態といえましょう。

さて、例年であれば十一日間にわたって行われる山王祭は、六月七日、末社八坂神社の例祭から始まります。末社八坂神社の御祭神は、京都の八坂神社から御分霊を頂く素戔鳴（スサノオ）大神様で、牛頭天王とも申上げる素戔鳴様は疫病退散の御利益が名高く、有名な祇園祭もまた、疫病の流行鎮圧が本旨です。

本年の八坂神社例祭は、万止むを得ず神職のみで、また規模を縮小して執り行いますが、新型コロナウイルス感染症という忌まわしい疫病が一刻も早く終熄するよう、例年にも増して誠実に、熱心に御奉仕申上げる所存です。

本稿執筆時の五月末現在、新規の感染者数は漸減しているとはいえ、ほんの一時の気の緩みが第二次、三次の拡大を招きかねません。神社としまして、氏子御崇敬の皆様と共に自衛手段を講じ、この非常事態を乗り切って参りたく存じます。そして次回、令和四年の山王祭を江戸三大祭の華にふさわしく華麗に、豪奢に、盛大に執り行うべく精進して参ります。

令和二年 山王祭 行事日程

六月

七日(日) 十一時

末社八坂神社例祭

十日(水) 十一時

表千家元献茶式

十一日(金) 七時四十五分～十七時

神幸祭

十三日(土)

境内茶園並狹山新茶奉納奉告祭

同 十八時

十四日(日)

献灯祭 十一時～十二時

同 十八時

同 十八時

十五日(月)

例祭 十一時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

同 十八時

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年執り行っている祭典を中止。若しくは神職のみで行う事と致しました。何卒ご理解の程、御願ひ申し上げます。

特別寄稿



参議院議員

山谷えり子

戦後最大の危機とも言われている「新型コロナウイルス感染症」により、四月七日に緊急事態宣言が発令されてから一か月が経過しました。

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様および関係者の皆様、また影響を受けられている皆様にお見舞い申し上げます。

また、感染の危機に直面しながら最前線でウイルスとの闘いに臨んでくださっている医療従事者の皆様をはじめ、私たちの日々の生活を守るために働いてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。

人類未曾有のコロナ禍という危機に、政治は国民の命と生活を守り抜くために被害を最小化し、一刻も早い収束にむけて対策を講じていく務めがあります。

外出自粛により街中の店舗は多くが休業し、経済活動にも大きな影響

を及ぼしています。

「迅速」で「大胆」かつ「きめ細やか」な施策を国と地方が協力して進めていかなくはなりません。

世界中に広がったコロナ禍は、人類がただまっしぐらに文明社会へと突き進んできた中、科学やテクノロジーの進化によって、あたかも全てを手に入れたかのように過信した現代人の既存概念や行動を覆すような事態でもありました。

都市化、効率化、サービス競争の社会の中で、私たちは思い通りにいつて当たり前と考える癖を知らず知らずのうちに色濃く身につけてしまいました。が、今はこうしたことも含めて人生や社会のありようを哲学しなさい、葛藤を引き受け、複雑性の中でこそ人格や社会が成熟していくことを思い起こせと言われているように感じます。

生き方や働き方、教育、家族や地域について改めて考える機会ともい

えるのではないのでしょうか。

今夏に開催予定だった東京オリンピックパラリンピック開催期間中の対応として、企業や事業者は工夫を凝らしテレワークの導入など準備を進めていたところですが、コロナによって思わぬ形で前倒しとなった状況にあります。

世界と比較しても、異常ともいえるわが国の長い通勤時間や通勤ラッシュの光景は、ガイドブックにも紹介され、来日した外国人観光客の体験記にも頻繁に登場します。

これまで、働き方改革が最も遅れていると言われていた「永田町」においても、オンライン会議やペーパーレス化が劇的に進んだ機会となりました。

また、教育にも大きな変化をもたらしています。

全国的な休校要請が卒入学、学期末新学期にまたがったこともあり、現場の先生方は限られた時間の中、最善を尽くすべく奔走してくださいました。

子供たちは二か月以上も学校へ通わない日々が続いています。が、オンライン授業やプリント配信などで学習機会の確保がなされています。今後、学校が再開された時には、将来的な学校の必要性についてもさまざまな意見が出てくることを懸念して

おりますが、学校は単に学力をつけることだけでなく、共同生活を通じて社会性を身につけていくための中心的役割を担っていることを忘れないでほしいと思います。

家族で過ごす時間が増えた一方、外出もままならず遠方の家族や友人たちと会えない環境の中でも、一流のアスリートによる自宅で出来るトレーニング、ミュージシャンの美しい歌声などのプロの技から、日々の暮らしの中での子供やペットの微笑ましい姿など、それぞれ工夫を凝らした過ごし方で楽しんでいる姿を見聞します。

ラジオパーソナリティーであった父・山谷親平の『テレフォン人生相談』では、いつも「絶望は愚か者の結論なりと申します」というフレーズでスタートしていました。

絶望と隣り合わせの苦しい中ではありますが、今こそ大人である私達の行動が試されている時でもあります。ここ一番の踏ん張り時ともいえるでしょう。

しかしながら、どんな困難な中にあっても、光を生み、照らすことができるのも人間なのです。

皆で力を合わせて、次の時代へと紡ぐために、今この試練を共に乗り越えていきましょう。

山王祭

—日本三大祭—

佐倉山車人形保存会

鶴岡勝人

佐倉と日本橋

徳川家康により幕府が江戸に開府されると、東の要として下総の国「佐倉」は、幕府で重要な役職についた佐倉城主と共に城下町が整備され佐倉藩は大変賑わった。江戸と密接な関係にあった佐倉藩には数多くの江戸の技術、文化に影響があったことが伺える。その中でもひととき豪華絢爛なものとして、現在にも受け継がれているものが、佐倉藩総鎮守である麻賀多神社氏子町（現在の新町六町と弥勒町）が所有している山車と山車人形である。

明治維新を迎え、江戸幕府の加護を受けていた天下祭（山王祭・神田祭）は衰退していく。江戸の華であった「山車」は明治時代になると一部は売りに出され、地方の本店（規模

の大きな商店）商人が買い付け、その土地の祭禮文化に取り入れられた。明治時代の佐倉は廃藩置県以降の明治六年（一八七三）には佐倉城内施設が取り壊されて兵営の造営となり翌年には歩兵第二連隊の兵営地として佐倉の町は軍都へと変貌していき、城下町から商人町と移り変わり、本店が沢山あらわれた。佐倉も江戸で使われていた「山車」を明治十二年（一八七九）に横町「石橋人形山車」・二番町「玉ノ井龍神人形山車」・仲町「関羽人形山車」・肴町「竹生島龍神人形山車」・間之町「狸々人形山車」、そのよく年の明治一三年（一八八〇）に上町「日本武尊人形山車」を購入したとされている。弥勒町は現在、山車人形「八幡太郎義家」を所蔵している町内で、明治



佐倉と日本橋

二十八年（一八九五）の招魂祭の写真には「八幡太郎義家」とは形が違う山車人形が写っている。当時、花山車と呼ばれる「神功皇后と応神天皇（？）を抱く武内宿禰」人形山車を所有していたことがわかった。

横町「石橋人形山車」の町内額表に

は明治を代表する書家「巻菱潭」が横町と揮毫され、裏には「明治十二年九月納入 皇國装束師 関岡長光」の墨書きがある。また、現在山車は存在しないが、二番町「玉ノ井龍神人形山車」と肴町「竹生島龍神人形山車」にも、横町と同じ書家が



上町「日本武尊」



横町「石橋」

揮毫し、裏にも同様な墨書きがある町内額を所有している。このことにより横町・二番町・肴町の三町内は同じ時期に「関岡長光」を通じて江戸型山車を購入したと考えられる。この「関岡」という人物について調べてみると、明治十三年四月に版權した「東京商人録」によると装束師之部に「日本橋區馬喰町四丁目八番地 關岡長右衛門」とある。装束師とは、衣装や道具を揃える仕事のことで、横町・二番町・肴町の山車人形は、能の演目「石橋」「玉ノ井」「竹生島」で能の一場面を表現しており、衣装も全て能装束で能装束師が揃えた技法によって作られている。また、二番町が所有する玉ノ井龍神人形を納める木箱に「御舞扇子 馬喰町四丁目 御装束師 關岡 御冠烏帽子所」の張り紙がある。上町台帳にも明治十三年に「馬喰町四丁目 関岡長右衛門 日本武尊出し壺本」と購入記録が残る。このことから、横町、二番町、肴町、上町の四町内は同じ「関岡」から山車を購入していたのではないかと考えられる。

関東各地に数多くある江戸型山車人形の中でも佐倉の山車人形が格別であるのは、江戸の天下祭との結びつきがひととき強いからである。

天下祭とは、徳川家康公が江戸城入城より、徳川の産土神として篤い



仲町「関羽」



二番町「玉乃井龍神」

崇敬を受け、手厚く保護されていた江戸城の鎮守である山王社（日枝神社）と江戸の総鎮守・神田明神の祭禮をさし、徳川幕府公認の特別な祭禮として幕府主体で執りおこなわれ、各氏子町会は江戸城内へ番附けによる行列を成して巡行し、時の將軍による上覧を受けた。

佐倉の山車人形は、江戸を代表する名工によって日本橋界隈で制作され、実際に徳川將軍の上覧を受けた由緒正しきものもあると言われており、人形の装飾は古美術品を用いたり、制作品は細部まで卓越した技術を見る事ができる。装束についても当時の豪華絢爛な素材で制作されており、現在となつては同じように制作することは不可能と言われる。

特に各町会が所有する上段四方幕は見事な出来栄である。横町「波に牡丹」、上町「雲に龍」、二番町「波に龍」、仲町「雲に龍」、肴町「貝づくし」、間之町「波に千鳥」、弥勒町「雲に鶴」といった構成で、明治十二年、十三年に日本橋馬喰町四丁目に居を構えていた「関岡能装束店」によって製作されたものを筆頭に、各町金糸・銀糸がふんだんに使われており、職人の精巧な技術、素材の豪華さに驚く。

現在、麻賀多神社氏子町内になつている宮子路町・並木町・仲尾余町・最上町・裏新町・袋町・野狐台町は



彌勒町「八幡太郎義家」



肴町「竹生島龍神」

武士達が住む町を形成していたため、麻賀多神社の祭禮には参加していなかった。後に陸軍「歩兵第二連隊」が駐屯し、飲食店・酒屋・写真屋・旅館、そして呉服屋・靴関係などの商売が盛んとなり、御神酒所(屋台)を新調購入し、麻賀多神社の祭禮は明治時代終わりから大正にかけて参加町内が徐々に増え、町の発展とともに賑わいをみせたと思われる。

今回、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、春祭りから各地で開催が中止となっている。佐倉が日本橋方面から山車を購入した明治十二年(一八七九)に外国船が入港し疫病(コレラ)が大流行。横浜・東京をはじめ関東地方で被害が拡大し、患者は約十六万八千人、死者は十万四百人にも達した。と記録が残る。やはり、この時の衛生管理の予防対策も「手洗い」「換気」「外出を控える」が重要と記載されており、現代と同じことが言われている。なぜ佐倉が約百四十年前、疫病が流行っている時に山車等を購入したのかは疑問が残るが、近年起こっている天災や疫病を乗り越え、江戸時代からこの地に受け継がれてきた文化継承の使命を誇りに思い、祭禮文化が末永く繁栄し、次世代へと受け継がれることを切に願う。

(佐倉人)

奉 祝 山 王 祭

略称敬同不同順

(株)植むらフーズ 代表社員	山王むらつき会 会長 藤田 誠	(株)アルファビデオ 代表取締役 青山 朋孝	(株)食文化総研 レストラン黒澤グループ	日枝神社四葉会	(株)ザ・キャピトルホテル東急 総支配人 末吉 孝弘	山の茶屋 遠藤 恒夫	山王熱供給(株) 代表取締役 津曲 荒太 2口	永田町・霞ヶ関 平河町	(株)ぬ利彦 代表取締役 中澤 彦七 3口
(資)清水陰商店 代表社員 清水 昭治	池田薬局 池田 新二	三番町 田中 康博	(株)伊勢半本店 代表取締役 澤田 晴子	番町・九段・四谷	(有)ナリタ美容室 代表取締役 成田 弘子	弁護士法人一審町総合法律事務所 代表社員 神崎 浩昭	(株)ジャパングレーライン 代表取締役 眞下 慶一郎 (株)ジョー・コーポレーション 代表取締役 堀切 健司	(株)桜井食品 代表取締役 桜井 勉	永田町 天竹 荻原 秀夫 麹町・紀尾井町 (株)ニュー・オータニ 代表取締役 大谷 和彦
	(株)キョウエイアドインターナショナル 代表取締役 廣瀬 勝巳	TANKAホールディングス(株) 執行役員 田中 浩一朗	(株)東京倉館 取締役社長 渡辺 訓章	泉吉(株) 代表取締役 岸本 昌子	(株)帝国ホテル 取締役社長 定保 英弥	東宝(株) 名誉会長 松岡 功	東京技工(株) 代表取締役 林 光男 2口	大手町・丸の内 内幸町・有楽町	表千家 不審菴 家元 千 宗左 (株)朝日写真ニュース社 代表取締役 阪田 裕一
北見不動産(有) 代表取締役 北見 芳夫 北見 千穂	八丁堀 茅場町・兜町	小宮山印刷(株) 代表取締役 小宮山 貴史	金子架設工業(株) 代表取締役 青木 茂	中西瀝青ホールディングス(株) 代表取締役 森口 友美子	木村實業(株) 代表取締役 木村 平右衛門	川崎定徳(株) 代表取締役 川崎 眞次郎	日本橋吉野鮨本店 吉野 正敏 東京建物(株) 代表取締役 野村 均	(株)高島屋 常務取締役 亀岡 恒方	日本料理ゆかり 野永 喜一郎 (株)榮太樓總本舗 代表取締役 細田 眞
(株)ギンザのサエグサ	(株)木村商店 代表取締役 木村 暖子	(株)小松ストア 代表取締役 小坂 敬	新銀 橋座	中島金属箔粉工業(株) 代表取締役 中島 武	清水建設(株) 取締役社長 井上 和幸	(株)トミタ 取締役会長 冨田 正一	(株)大澤ローヤル 代表取締役 大澤 忠政	(株)プレナス 代表取締役 塩井 辰男	(資)北見商店 代表社員 北見 まさ子 いちよし証券(株) 代表取締役 玉田 弘文 エスビー食品(株) 代表取締役 小形 博行

奉 祝 山 王 祭

順不同敬称略

(株)小林傳次郎中央地所部 代表取締役 小林 久子	(株)銀座ナイン 代表取締役 会 長 柴 田 孝 則	(株)新橋玉木屋 代表取締役 田 卷 章 子	銀座越後屋 八代目 代表取締役 永井甚右衛門	(株)銀座木村家 代表取締役 木村美貴子	(株)ホツタ 取締役社長 堀 田 峰 明	銀座吉田(株) 代表取締役 吉 田 民 雄	富士産業(株) 代表取締役 中 村 勝 彦	崇敬者(氏子外)	(株)泉屋東京店 代表取締役 泉 由 紀 子	マネックスグループ(株) 代表執行役 松 本 大																																							
コトー商事(株) 代表取締役 野 玉 善 一	(株)錦屋マリエマリエ 取締役社長 勝 田 久 美 子	(株)フエム 代表取締役 藤 田 誠	(株)ミロク情報サービス 代表取締役 社 長 是 枝 周 樹	鈴木徽章工芸(株) 取締役会長 鈴 木 健 之	(株)アーバネットコーポレーション 代表取締役 社 長 服 部 信 治	(株)糟谷 相 談 役 糟 谷 孝 男	(株)井筒装束店 代表取締役 佐 織 鉄 郎	(株)高田装束店 東京店 代表取締役 加 藤 充 則	(株)大槻装束店 代表取締役 大 槻 奈 津 子	佐 竹 昭 二																																							
(株)兵左衛門 取締役会長 浦 谷 兵 剛	(株)なだろ 社 長 卷 木 通 浩	(株)フォーシーズンズ 代表取締役 会長兼EO 浅 野 秀 則	安全自動車(株) 代表取締役 社 長 中 谷 宗 平	(株)丸井スズキ 代表取締役 鈴木 貴 博	廣田特許事務所 所 長 弁 理 士 廣 田 雅 紀	有楽商事(株) 代表取締役 平 沼 頭 司	佐藤産業(株) 会 長 佐 藤 太 美 雄	(株)信英堂 代表取締役 桜 井 俊 一	朝日総業(株) 代表取締役 池 本 な ぎ さ	(株)CMC 代表取締役 高 橋 悦 郎	(株)木村屋總本店 代表取締役 社 長 木 村 光 伯																																						
酒は、これを神々に献り、その撤下をいただく事によって、うつうつとした気持ちが晴れやかになる百葉の長です。 当日枝神社の御祭神大山咋神は、古来、酒を司らせ給う東都の酒神と厚く信仰せられるところであります。																																																	
令和二年正月献酒醸造元芳名(順不同・敬称略)																																																	
新 政 酒 造 (株)	薩 摩 酒 造 (株)	岩 村 醸 造 (株)	秋 田 銘 醸 (株)	吉 乃 川 (株)東京支店	(株)本 田 商 店	大 関 (株)首都圏支店	江 井 ヶ 嶋 酒 造 (株)	醉 鯨 酒 造 (株)	賀 茂 鶴 酒 造 (株)	桃 川 (株)東京支店	土 佐 鶴 酒 造 (株)	濱 田 酒 造 (株)	福 徳 長 酒 類 (株)	千 代 の 園 酒 造 (株)	小 西 酒 造 (株)東京支社	鍋 店 (株)	(株)榊 田 酒 造 店	宝 酒 造 (株)	木 戸 泉 酒 造 (株)	枋 倉 酒 造 (株)	雲 海 酒 造 (株)東京支店	岩 瀬 酒 造 (株)	(株)丸 山 酒 造 場	霧 島 酒 造 (株)	(株)家 久 長 本 店	(株)北 雪 酒 造	日 本 盛 (株)東京支店	天 鷹 酒 造 (株)	菊 水 酒 造 (株)	辰 馬 本 家 酒 造 (株)	(株)小 山 本 家 酒 造	奥 の 松 酒 造 (株)	ヒ ガ シ マ ル 醬 油 (株)	武 蔵 鶴 酒 造 (株)	(株)和 田 酒 造 (資)	白 鷹 (株)東京支店	(株)矢 尾 本 店 酒 つ り の 森	近 藤 酒 造 (株)	(株)六 歌 仙	キ ン シ 正 宗 (株)	七 笑 酒 造 (株)	土 田 酒 造 (株)	菊 正 宗 酒 造 (株)	山 梨 銘 醸 (株)	(株)三 宅 本 店	白 鶴 酒 造 (株)東京支社	(株)土 井 酒 造 場	月 桂 冠 (株)	

奉納書初展

正月恒例の書初展奉納作品を一月十五日迄境内に展示しました。

また、一月六日の午後二時より社殿にて奉告祭を執り行い、引き続き参集殿にて山王奉書会を開催しました。

今年の宮司賞は趙町中学校小野まり子さんが、氏子崇敬会長賞には九段中等教育学校の三浦詩さんが選ばれました。



山王奉書会
(参集殿にて)

第五十五回 山王奉書会

表彰者芳名(順不同)

宮司賞

趙町中学校三年

小野まり子殿

氏子崇敬会長賞

九段中等教育学校三年

三浦 詩殿

秀作

番町小学校六年

原 千真理殿

お茶の水小学校三年

鷹取 直哉殿

趙町小学校六年

二木優理愛殿

富士見小学校五年

山口 征成殿

月島第三小学校五年

齋藤 希成殿

神田一橋中学校三年

植田 倫殿

趙町中学校一年

鈴木 ひな殿

九段中等教育学校一年

木村 海斗殿

和洋九段女子中学校二年

鈴木 愛美殿

山脇学園中学校三年

熊谷 珠希殿

宮司賞をいただいて

趙町中学校三年 小野 まり子

この度は第五十六回日枝神社奉納書初展において、宮司賞に選んでいただきありがとうございます。このような素晴らしい賞をいただくことができてとても嬉しいです。

「萬物生光輝」という書には、「この世のすべてのものは自ら光り輝いている。」という意味があるそうです。書くときに注意したことは、全体のバランスや字の特徴をとらえながら、字の太さや大きさを変えたことです。

「生」は画数が少ないので、弱い書体にならないよう横画で行書のなめらかさを表現し、縦画を太く力強く書き、存在感のあるように仕上げました。そして、「萬」「物」「輝」は画数が多いので、大きさをおさえるためになるべく横に広げ、半紙いっぱいに表示しました。

私が書道で大切にしていることはリズム感です。頭の中で注意するべき点を考えながら、リズムカルに筆

氏子崇敬会長賞をいただいて

九段中等教育学校三年 三浦 詩

今回僕の作品をこのような賞に選んで下さって本当にありがとうございます。何かしらの賞に選ばれたという思いは思っていました。実際に選ばれたと知ったときはうれしと同時に驚きました。

小学校のときから書き初めをする機会が毎年あり、書き写すことが得意だったので賞に選ばれることは多くありました。しかし他の選ばれた人の作品とは根本的な何かが違うというのを感じていました。

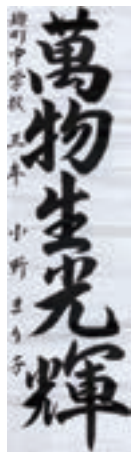
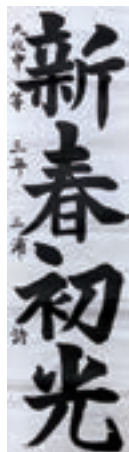
中学校に入ってから毎年書き初めはありましたが、僕が賞に選ばれたことは無くなりました。そこで選ばれた人や有力候補だった人の作品を見比べたときに、上手な人の作品

は字が浮き出て見えるほどはつきりとして書くことに気づきました。その理由を考えて、上手な人と僕では筆のあて方が違うという結論に至りました。これは持っているテクニクの差から来る違いだろうと、真似だけで字を書くことの限界を感じ、書道の基本的な部分をきちんと教えてもらう必要があると思い書道部に転部しました。

書道部でプロの方に教えてもらったおかげで、字の仕組みや正しい筆の使い方を理解することができ、自分の字が変化していくのを感じました。今回賞に選ばれたことで自分の選択は間違っていないかと自信を持てました。また真似をしていた頃

を運ぶことを心掛けています。

書道教室に入会して十年の間、他の習い事との両立が難しく大変なこともありましたが、それでも今日まで続けることができたのは、温かく、そして熱心に指導して下さいる先生、一緒に頑張ってきた友達、いつも応援してくれる家族のおかげです。本当にありがとうございます。これからも一生懸命、日々の練習に励みます。



〈第五十六回日枝神社奉納書初展・山王奉書会記念講演〉

書のすばらしさ

内閣府辞令専門職 茂住修身氏

実は、私が書を好きになったのは大学に入ってからです。書を知る事になったきっかけは、大学で友達作りのために偶然入った部活が書道部だったからでした。書道部の人数は、私が部長を務めた三年生の時には三百七十人程いました。部長を務めました。一年生の時は書が上手ではありませんでしたので、毎日一生懸命稽古をしました。何故かというと負けたくないという気持ちがあったからです。この書道部は小学生や中学生の頃から、一生懸命努力して賞を取っているようなエリートが集まっている部活でした。従って、遅れをとっていた私は落ちこぼれでした。しかし、落ちこぼれのままで悔しいという気持ちが湧いてきました。それと同時に、書の面白さや魅力にも惹かれていきま

した。その結果、書道に対する意識が変わり、仲間も増え、部長も務めました。その後、約三百七十人も部員がいる書道部の部長を務めていることを学校から認めてもらい、就職の際に内閣府に推薦していただきました。このように、一生懸命やったら何かいい事があります。

私の場合は大学入学後に書が好きと言うことに気付き、それから一生懸命書に打ち込みました。もし、皆さんに合っているものや好きなものがあるなら、それに一生懸命打ち込んでください。私の場合は偶然、白と黒の世界である書というものが好きになり、この道に進んでいきました。何故、私が書を面白いと感じたかというと、真っ白な紙に何を書いてもいいからです。どんな言葉を書いても、





真っ黒に書いても良いし、白を多くしても良い等、どのように書いてもいいからです。皆さんの中には、自由ではあるけれど、手本が無いと良い字が書けないと感じている方も多いと思います。それも一理ありますが、それはまだ成長過程の段階です。出来る事ならば書が好きになる事によって湧き出てくるものを表現する事が一番良いと思います。

私が思う書の魅力について端的に説明すると、「時間」という概念がある事が挙げられます。書き始めと書き終わりには時間の経過



があります。そして、書には一回で書くという一回性というものがあります。これは絵画とは違います。絵画は色を重ねて、自分のイメージした色をつくります。一方で、書は一回で書かないといけないという瞬間の芸術です。そのため、気持ちを込めて書かないといものが書けません。しかし、自分の気持ちや目のつけ処は時間の経過と共に変わっていく為、同じ作品でも違って見えます。違って見えるから良いのです。ですから、書の指導をされる先生方には出来ることなら「こうやって書きなさ

い」や「ここが手本と違う」というような事をあまり言わないで欲しいです。そして、生徒には気持ちを高めて書いて欲しいです。逆に言えば、書きたくない時に無理に書いても、いいものを書くことは出来ないで書かない方がいいです。字は何かを皆さんに伝えてくれます。ですから、そのメッセージを汲み取る事が出来るように、気持ちを上げて残りの書く枚数を決める、そしていいものを一枚書くという事が大切です。また、お手本通りに書けたのかどうかを気にするのではなく、気持ちを込めて書く事が何よりも重要となります。コンクールの選考もお手本と見比べて行っているわけではありません。作品だけを見ています。人に感動を与える、何かを伝える、そういった自分の思いを伝えるために、気持ちを込めて書く。その事によって筆にエネルギーが移り、エネルギーが字に入るため、字が喋ります。皆さんには、そのような字を書いてほしいです。

私は仕事として四月に令和とい

う字を書きました。その字は多くの方がご覧になったと思います。しかし、見た人全員が良いと思っただけではないと思います。違う意見があるのは当然ですし、そうあるべきだとも思います。ただ、あの令和の字は目的に沿って書きました。その目的とはこの字をこれから先、元号として使いますよということを世の中に伝えるというものでした。また、上の人からは活字に近いものを表現して欲しいと言われ、あの字を書きました。ただ、もし菅官房長官が掲げたあの令和の文字がゴシック体や明朝体のような活字で出ていたら、皆さんはどのように受け取ったのでしょうか。筆で書くことによつて、皆さんがこれから始まる新しい時代に対して、凛とした雰囲気など、少なからず何かを感じ取ってくれたのではないかと思います。活字では伝わらない何かを持っているのが書の魅力や力だと私は思います。

(文責編集)

魔除けの筒守 上

武蔵大学教授 福原敏男

筒守とは

社寺で授与される御守には、御利益ごとにさまざまな種類がある。また形態的にも、屋内外に貼りつけたり神棚や仏壇に供える「御札」や、小さな紙片に神仏の名や験（靈験）が刷られた「護符」、それらを布の小袋に入れて身につける「守袋」などは身近で目にすることも多いと思う。かつては守袋を着物の背中や帯に縫いつけたり、腕に巻きつけるなどの携帯方法もあり、特に外出時には肌身離さず持つということも広く行われていたようだ。また、主に女性が用いた「懸守」は、装身具のような巾着形の守袋を首にかけ、着物の上に吊るすものである。旅などの外出時に携帯すると同時に、周囲の人に見せるアクセサリのようなものでもあろう。

竹筒に護符や御札を入れて水平に吊るして携行するものを「筒守」と

いい、江戸時代には「つつまぼり」とも呼ばれた。稀少な例として、現在においても京都祇園祭長刀鉾の生稚児社参行事には「祇園守」というものが伝承されており、筒守の名残を見ることができるといえる。しかしそのほとんどは明治時代には消滅してしまっただけで、江戸山王祭の附祭の筒守など、祭礼については次号に述べる。

筒守の製法に関しては、貞享三年（一六八六）刊『雍州府志』巻七の「表挿囊」によると、一尺（三十cm強）ほどに切った竹筒の節を抜いて護符や御札を入れ、唐織りの絹の錦袋などで包み、両端の金環に紅緒（掛緒）を結んで吊るす（釣るす）とあり、趣向を凝らした高価なものであったことがわかる。同書によると、筒守は兒女が輿で他行（外出）する際、「邪祟」を避けるため、輿の前方外側に必ず吊り懸けるものとされ、外界の魔物除けとして用いら



図2「婚礼道具諸器形寸法目録」



図1『女用訓蒙図彙』

れたとされる。

筒守は図3のように、子どもの乗った駕籠や輿の前方に懸け吊るしたり、祭りや社寺参詣などハレの折において、肩車あるいは抱き抱えられた子どもに差し掛けた傘の縁下に吊るして携行した。

筒守は、花嫁の嫁入りに際しても用いられたが、貞享四年の『女用訓蒙図彙』図1を見ると、筒守の掛緒には多数の鈴が付けられており、女



図3 正月三日大名若殿江戸登城図（大阪府立中之島図書館蔵「保古帖」収載）

性が首から下げることはないであろう。また、寛政五年（一七九三）の斎藤玉山「婚礼道具諸器形寸法目錄」図2を見ても、筒守は図1同様、豪華な婚礼にふさわしい飾り房付きの工芸品で、生涯大切にされる嫁入りの道具の一つであった。筒の長さは一尺二寸、掛緒は五尺八寸五分、つまり百七十cm以上もあり、道中、筒守が落ちて傷まぬように、輿の前方に長い緒でしっかりと懸け吊したのである。

ろう。

筒守を持参するほどの大家の婚礼では、輿を用いての嫁入り行列（御輿入れ）であったはずで、当時十代が普通であった花嫁の旅立ちの身の上に魔物が入り込まぬよう、鈴を鳴らし筒守を前方に掲げながら移動したのではなからうか。

子どもや花嫁の同行の者が筒守を丁重に持参すればよいものを、「吊り下げる」というのは、一見奇妙な携行方法である（福原「傘に吊るす御守—子どもの魔除け—」坂本要編『東国の祇園祭礼』岩田書院 二〇一九年）。

筒守には家の外に潜んでいる魔物除けの願いが込められており、駕籠や輿の前方、傘下に吊るし掲げて、乗物内や傘下空間を結界し、花嫁や子どもを呪術的に守るという考えが伺える。

駕籠に吊るす

子どもの乗る駕籠に筒守を懸け吊るす画像資料が、いくつか確認できる（斎藤研一『子どもの中世史』吉川弘文館、二〇〇三年）。

静嘉堂文庫美術館蔵「四条河原遊楽図屏風」右隻第一扇に描かれる駕籠の前方には筒守が懸けられ、住吉具慶筆の奈良・興福院蔵「都鄙図巻」の駕籠に乗った幼い子どもの顔の近くにも筒守が吊るされている。

本稿では、図3の大阪府立中之島図書館蔵「保古帖」収録の紙本墨摺図について紹介しよう。以下、図上部の文字を翻刻する。

あらたに生のはるたちかへる
としの御いわるとてうへ／＼か
たの
御わかとのにハかす／＼の御
たきもり
おそばこしやう
つきしたかい

御のりものゝそはさらす
きんひらかほしいよりともかふ
てとおほせらるゝも大みやう乃
御子なれば也

現代文にすると、新たに生物の春が来る年初の御祝いに際して、或る大名家の若殿が登城する風景であり、多くの抱き守りや御側小姓が付き随い、駕籠周辺をガードしている。若殿は金平人形が欲しい、頼朝人形を買ってと我がまま放題である。

市岡正一の『徳川盛世録』（平凡社東洋文庫、一九八九年）「年始登城」によると、正月三日には、国王（大名）の嫡子が各屋敷から江戸城へ登り將軍に挨拶する行事がある。この道中を描く本図には、三、四歳ほどの若殿が人形で遊び、その駕籠の前方に筒守が吊るされている。

若殿の現実の危険に対しては、何人もが警固している。さらにそれに加えて、霊的に守護する筒守も必要とされたのである。

時代は移っても、現代の自動車御守も筒守のように、フロントガラスに吊るされる。それは安全の自戒（注意喚起）や飾り物ともなるが、何よりも、神仏の霊力による事故除けの願いが込められている。

山王台通信

就任

責任役員代務者

泉 由紀子殿

株式会社泉屋東京店

令和二年三月九日付

神社本庁辞令

主典

千葉 統彦

主典

榎本 圭佑

日枝神社権禰宜に任ずる

令和二年四月一日付

新入職員紹介

出仕 波多野茂久

福岡県出身

國學院大學神道文化学部

神道文化学科卒

巫女 大伴 文乃

富山県出身

國學院大學神道学専攻科卒

巫女 山田 遥香

東京都出身

國學院大學文学部史学科卒

巫女 松尾 美里

長崎県出身

福岡大学人文学部文化学科卒

巫女 南 咲

東京都出身

國學院大學文学部日本文学科卒

巫女 本間 彩華

千葉県出身

東京こども専門学校卒

巫女 上野 穂香

茨城県出身

白鷗大学足利高等学校卒

巫女 北林明日菜

千葉県出身

検見川高等学校卒

実習生 澁谷 武俊

広島県出身

國學院大學神道文化学部

神道文化学科在学中

実習生 佐藤 汰希

熊本県出身

國學院大學別科神道専修在学中

令和二年四月一日付

御神米づくり 田植祭



令和二年四月二十六日（日）に御神米づくり田植祭を御奉仕致しました。

例年は奉賛青年会を始めとした大勢の崇敬者と共に行っていましたが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、神職のみで祭典を執行し、田植えを行いました。



お知らせ

・緑蔭朝詣りとラジオ体操の集い

・箸感謝祭

・敬老祭

・中秋管絃祭

例年執り行なっているこれらの祭典は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とさせて頂きます。また、山王祖霊祭は神職のみで執り行います。

御崇敬の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程お願い申し上げます。



〈通巻百三十六号〉

発行 令和二年六月一日

編集 日枝神社社務所

東京都千代田区永田町二丁目十番五号

（郵便番号 一〇〇〇〇一四）

TEL 〇三―三五八一―二四七一（代表）

FAX 〇三―三五八一―二〇七七

<http://www.hiejinja.net/>

日枝神社 山王祭公式アプリ

無 料

ホームページ・Twitter・Facebookでも情報を公開しています。QR コードもしくは URL からご覧ください。

iOS端末 android 端末 対応



山王祭公式ホームページ

<http://www.tenkamatsuri.jp/>



日枝神社

公式 Facebook ページ

www.facebook.com/hiejinja/



郵送祈禱を承ります



御祈禱は直接神社にお越しになりお受けいただく事が本来ではございますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご郵送によるお預かりの御祈禱を承っております。



詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.hiejinja.net/news/index.html>